



# 黒島魂

～しまごころ～

## 自分の思いを発表できた6・29平和集会！

先週の6月28日（金）に6・29平和集会を行いました。校長講話では、「今、佐世保の地に住んでいる私たちが79年前の出来事を正しく知り、理解し、未来への行動や決定に役立てなければならぬと思います。つまり、この悲惨な過去を教訓にしなければならぬ」と述べました。

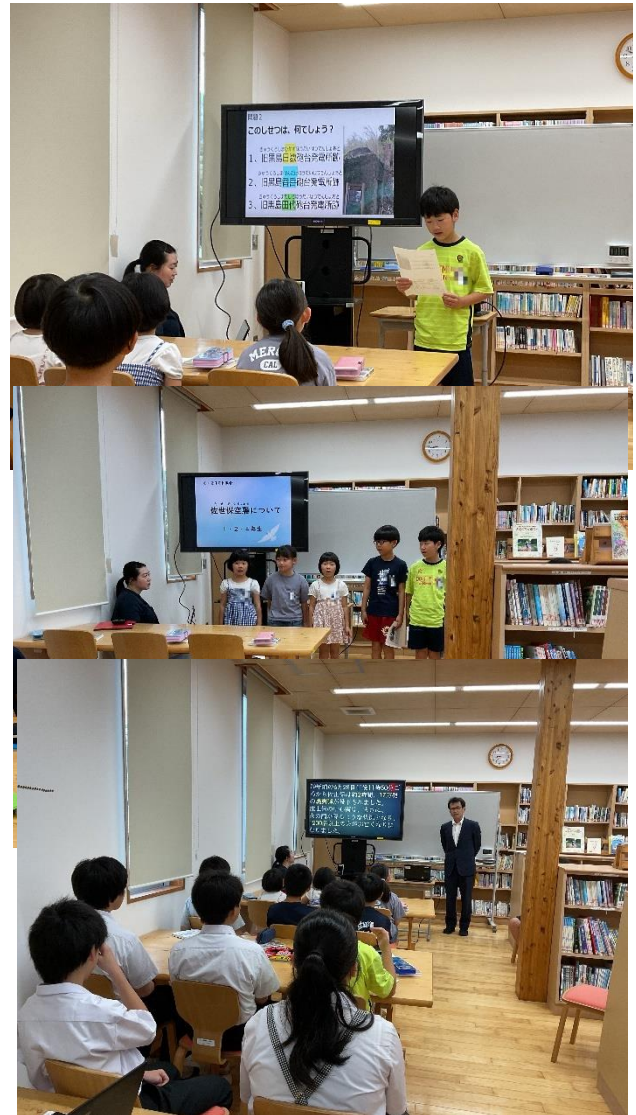
また、「長崎県民は、平和に対する意識が高く、長崎県版のニュースでも平和についての活動が毎日のように取り上げられています。実際に平和活動されていらっしゃる方がたくさんいらっしゃいます。～中略～しかしながら、佐世保空襲や長崎原爆について語る事ができる方は、ご高齢になられています」と話した後にNBC長崎放送が1月31日に長崎市役所で行われたピース・エデュケーション・ラボ長崎の卒業式を取材した際のVTRを視聴しました。そこでは、全国から選ばれた40名の若者が「ピース・ツアー」に参加し、10回の平和に関するオンラインセミナーを受講したのち、自分たちが平和のためにできることを発表していました。

千葉県の高校生は、長崎県のホームページを見て、その一部を引用し、被爆者の人生を追体験する平和学習を考え会場の人たちと学びを深めていました。また、その高校生は、「自分事として考えないと行動が続いていかないと思う」と述べていました。この団体の林田代表理事は、「行動する側が変わったときに、世の中は一気に動くのではないか。若い子供たちが平和のためにできることを考え、それを大人が支えていく。これは被爆地長崎の新しい文化になると思うのでぜひ世界に羽ばたくピースメーカーを育てていきたい」と訴えていました。

ここで紹介された **自分の価値観＋社会課題→行動**

私たちも目指していますが、子供たちには、自分の大切だと感じることと社会課題を照らし合わせ解決に向けて行動できようになってほしいと改めて感じたVTRでした。

子供たちも真剣な眼差しで、VTRを視聴しました。その後、この日までに学習した内容を班ごとに発表しました。最後に、佐世保空襲や黒島の戦跡調べで学んだことや感じたことを自分事として一人ずつ発表し、8・9平和集会につながる内容の濃い学習になりました。



この団体の林田代表理事は、「行動する側が変わったときに、世の中は一気に動くのではないか。若い子供たちが平和のためにできることを考え、それを大人が支えていく。これは被爆地長崎の新しい文化になると思うのでぜひ世界に羽ばたくピースメーカーを育てていきたい」と訴えていました。